

常に自己研鑽を

新指導員学校

基礎知識学ぶ



岩手県学童保育連絡協議会
〒020-0122
盛岡市みぎけ3-38-20
岩手県青少年会館内
Tel・Fax 019-681-0651



指導員の仕事についての講義を聞く参加者

県連協主催の第35回新指導員学校は9月13日に国立岩手山青少年交流の家で開かれました。県内の採用3年未満の新指導員ら52人が参加しました。今年度は新型コロナウイルス対策を講じての開催となりました。

午前中は嘉村祐之全国連協副会長が「学童保育の歴史と情勢」について講義。「学童保育の事業は完成さ

長で北上学童保育所指導員の高橋豊子さんが「指導員の仕事」について講義を行いました。高橋指導員は、全国連協発刊のテキストについて、「テキストを日ごろから読み込んでおくことが大事。迷ったときはテキストを読むと原点に立ち返ることが

できる」と述べました。指導員の役割について、「指導員は豊かな人間性と倫理観を備え、常に自己研鑽に励みながら必要な知識、技術をもって育成支援にあたる」と解説。「自分の仕事に誇りをもって働き続けるためにも自己研鑽が大切」と語り、常に勉強することの大切さを語りました。

午後は大上将吾指導員（北上市・北上南学童保育所）の話を聞きました。矢沢学童クラブが体験談を披露。新人の頃に悩んだこと、普段の仕事の中で心がけていることなどを語りました。引き続き6グループに分かれてテーブルトークが行い、日々の仕事の中で困りごとや疑問を出し合いながら交流しました。発達特性を持った子どもへの対応、子ども同士のトラブルへの対処方法などについて参加者が自身の経験を話したり、世話人の助言を聞いたりました。

指導員学校東北会場 オンライン開催

第45回全国指導員学校東北会場は11月29日にオンラインで開催されます。

参加方法の詳細については、決まり次第、各学童クラブにお知らせします。

新指導員学校参加者感想

思いあたること

多くあった

盛岡市・ひよこ学童クラブ
ブ・鈴木 志乃 指導員

4月から指導員として仕事をしている。分からないことも多く、勉強することがたくさんあると感じている。初めての研修会で、すごく勉強になった。特にテーブルトークで皆さんの話を聞いて、普段の現場で思い当たることが多くあった。乳幼児と違い、小学生はひとりの人間として声をかけていかなければならない面もあり難しいと感じている。機会があれば今後も研修会に参加してみたい。

記録の大切さ

大切さ感じた

釜石市・甲子学童育成クラブ
ブ・高柳 洋子 指導員

支援員の仕事について、分からないことが多かった。この研修に参加して色々な話を聞くことができた。保護者と日頃からコミュニケーションをとり、些細なことも伝えておくことで、トラブルがあった時にも解決しやすくなるという話を聞き、とても参考になった。また、気になったことなどを記録やメモに残し、後で様子が分かるようにしておくことも大切だと感じた。

新たな視点

気づきがあった

北上市・北上学童保育所第3つくしクラブ・齋藤 栗 指導員

初めてで右も左も分からない中で参加した。支援員の役割を学び「安心できること」の大事さを感じた。普段の子どもたちへの接し方を振り返り、考える機会